

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「景観むらづくり100年 (Land 100)」
事業主体 (連絡先)	白馬村
事業区分	5 環境保全、景観形成に関する事業 8 その他地域に元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,338,000 円 (うち支援金: 1,065,000 円)

事業内容

- 1 景観計画「景観むらづくり100年 (Land 100)」策定事業
- 2 “白馬の未来”と“田舎生活”を体験する、おためし移住事業
- 3 白馬の原風景 奈良井湿園植栽事業
- 4 森林づくりと林業振興 東山古道復元による里山景観保全事業

(活動写真)



【景観ワークショップ】

事業効果

- 1 景観計画「景観むらづくり100年 (Land 100)」策定事業
景観専門家をファシリテーターとして WS (ワークショップ)、FW (フィールドワーク) を開催。村民、白馬ファン、移住希望者、住民協定地区、外国人、学生等が参加。述べ97名が参加。
- 2 “景観計画策定”と“田舎生活”を体験する、おためし移住事業
古民家、コンドミニアム施設を利用し、おためし移住を実施した。3 白馬の原風景 奈良井湿園植栽事業
白馬村神城地区の奈良井は、先人が非常に苦勞し水田作業を営んできた。昭和50年代に圃場整備が完了したが、深刻な湿地地帯であるため十分な耕作が出来ず、地元要望もあり平成24年に農振を解除し、古来原風景に戻す事業を実施中。
- 4 森林づくりと林業振興 東山古道復元による里山景観保全事業
ワークショップによる座学を補完するためフィールドワークを実施し、林業景観保全を実体験した。

【目標・ねらい】

白馬の景観について、地元住民と白馬ファン等がワークショップやフィールドワークを通じ理解を深める。

※自己評価【 A 】

【理由】

景観について様々な方々が意見交換と現地作業通し、未来に残したい景観について語り合うことができたため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本事業は景観をキーワードにした、移住体験事業である。多様な方に携わっていただくことにより、白馬への愛着心と村を思う気持ちの熟成を図り、今後は景観行政団体に移行する予定である。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある